PART2 練習問題解説

問一　「覚ゆ」の活用の種類として、最も適切なものを一つ選びなさい。

a　上一段　　b　下一段　　c　四段　　d　上二段　　e　下二段

問二　「侍る」と活用の種類が同じ動詞を、次のa～eの傍線部の中から一つ選べ。

a　漏れ聞き候ふべく候ふ。

b　嫌（もど）き誹（そし）りぬべからむこと、…

c　心のうちも推し測らるるものにて候ふ。

d　また、知る人、すずろに…

e　花のやうに春ある人は、一盛り映えあるやうに…

問三　「『あの法師捕らへよ』と、…」の傍線部について、基本形を示したうえで、活用の種類・活用形として適当なものを次の中から選べ。

〈活用の種類〉

a　四段活用　　b　下一段活用　　c　下二段活用　　d　ラ行変格活用　　e　ナ行変格活用

〈活用形〉

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形　　エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

問四　「死して」の傍線部の活用の種類として最適なものを次のア～エから選べ。

ア　ナ行変格活用　　イ　ナ行四段活用　　ウ　サ行四段活用　　エ　サ行変格活用

問五　Ａ・Ｂの傍線部の動詞「まねぶ」・「取り出で」の、１　活用の行　２　活用の種類　３　活用形は何か。該当するものを、次のア～カの中からそれぞれ一つずつ選べ。

Ａ　若き人々もこのことまねぶをば、御心とどめてをかしきものにおもほしたれば…

Ｂ　心やすくも取り出でたまはず、いといたく秘めて、…

１　ア　ア行　イ　タ行　ウ　ダ行　エ　ナ行　オ　バ行　カ　マ行

２　ア　四段活用　イ　上一段活用　ウ　上二段活用　エ　下一段活用　オ　下二段活用　カ　変格活用

３　ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

Ａ　１＝　２＝　３＝

Ｂ　１＝　２＝　３＝

第2講　PART2　確認問題

①「燃(も)ゆ」の活用の種類として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　上一段　　イ　下一段　　ウ　四段　　エ　上二段　　オ　下二段

②「居(ゐ)ず」の傍線部分の活用の種類として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ラ行変格活用　　イ　ラ行四段活用　　ウ　ワ行上一段活用　　エ　ワ行四段活用

③「よろづの道に心得(こころえ)たるよしの、…」の傍線部分の動詞について、活用の種類・活用形として最も適当な組み合わせを、次の中から選べ。

ア　ア行上一段活用・未然形　　イ　ワ行上二段活用・連用形　　ウ　ワ行下一段活用・未然形
エ　ア行下二段活用・連用形　　オ　ワ行下一段活用・連体形　　カ　ア行下二段活用・連体形

④ 「中に、十（とを）ばかりにやあらむと見え（み）て、…」の傍線部分の動詞について、活用の種類・活用形として最も適当なものの組み合わせを、次の中から選べ。

ア　ア行下一段活用・連用形　　イ　ヤ行下一段活用・連体形　　ウ　ア行下二段活用・已然形

エ　ヤ行下二段活用・連用形　　オ　ア行下一段活用・連体形　　カ　ヤ行下二段活用・已然形

⑤ 「さばかり酔ひ（ゑ）なむ人は、…」の傍線部分の動詞について、活用の種類・活用形として最も適当なものの組み合わせを、次の中から選べ。

ア　ア行四段活用・連体形　　イ　ハ行四段活用・連用形　　ウ　ワ行四段活用・未然形

エ　ハ行上二段活用・連体形　　オ　ワ行四段活用・連用形　　カ　ハ行四段活用・未然形

第２講　PART２　解答

問一　e

問二　e

問三　捕らふ・c・カ

問四　エ

問五　A　1オ　2ア　3エ　B　1ウ　2オ　3イ

第２講　PART２　確認問題　解答

〔解説〕

① 「燃ゆ」は語幹が「燃」、活用語尾が「ゆ」の部分となり、「（燃）え・え・ゆ・ゆる・ゆれ・えよ」と活用するヤ行下二段活用の動詞である。

② 「居る」は語幹と活用語尾の区別のない動詞であり、「ゐ・ゐ・ゐる・ゐる・ゐれ・ゐよ」と活用するワ行上一段活用の動詞である。似ている動詞として「居り」があるが、こちらは語幹が「居」、活用語尾が「り」の部分となるラ行変格活用の動詞なので、間違えないようにする。

③ 「心得」の基本形は「心得」であり、「得」・「所得」と並ぶ「ア行下二段活用」の動詞である。ア行の下二段活用となる動詞はこの三種類のみなので、覚えておくとよい。また、動詞の下に、連体形の状態ではあるが助動詞「たり」が続いていることから、活用形は「連用形」となる。

④ 「見え」の基本形は「見ゆ」であり、「覚ゆ」などと並ぶ「ヤ行下二段活用」の動詞である。また、動詞の下に接続助詞「て」が続いていることから、活用形は「連用形」となる。

⑤ 「ない」をつけると「酔はない」となるので、「酔ふ」が基本形となる「ハ行四段活用」の動詞である。四段活用の動詞の場合、「酔ひ（イ段）」となる活用形は「連用形」である。

〔解答〕

①　オ
②　ウ
③　エ
④　エ
⑤　イ